

## トピックス 第3回 熊本市議会と若い世代との意見交換会を開催 →アンケート集計結果等、8Pをご覧ください

今回は、熊本市立必由館高等学校にご協力いただきました。



### 令和5年 第3回定例会の概要 9/4~9/27 会期24日間

#### ● 9月4日 本会議

- ・開会 ・提案理由説明

#### ● 9月6日~8日、11日~12日 本会議

- ・一般質問(5日間)

9月 6日 予算決算委員会理事会

9月 7日 議会広報委員会

9月11日 議会運営委員会

#### ● 9月14日~15日 予算決算委員会

- ・総括質疑(2日間)

#### ● 9月19日~20日 予算決算委員会分科会、部門別常任委員会

#### ● 9月25日 予算決算委員会

- ・分科会長報告、締めくくり質疑、表決

9月25日 大都市行財政制度に関する特別委員会

#### ● 9月27日 本会議

- ・委員長報告 ・質疑、討論、表決 ・閉会

9月27日 議会活性化検討会

#### 提出議案と議決結果

市長提出議案	80件	… 原案どおり可決80件、否決0件
議員提出議案	5件	… 原案どおり可決2件、否決3件
請願	1件	… 採択

9月6日(水)

市民連合



吉村 健治議員

質問1

こどもの命を守るための水泳授業を

水難事故に遭わないためのさまざまな知識を教える授業を本市全校一律に取り組むべきではないか。



答弁

水難事故に遭わないための知識を小中学校で教えることは重要であることから、事故防止の対策について市をあげて取り組んでいく。

質問2

不登校児童生徒の自立支援対策を公的に

学校以外で学びを続けられるフリースクールは、利用者の経済的負担が大きい。公的支援の検討が必要ではないか。

答弁

県内のフリースクールで構成される協議団体とも意見交換を行いながら、ニーズの把握に努めていく。

公明党



浜田 大介議員

質問1

不登校予防につながる睡眠教育の導入を

「睡眠教育」の導入で不登校生徒が半減した堺市の中学校の事例がある。本市でも取り入れてはどうか。

答弁

子どもの生活習慣確立のための取り組みは重要であることから、すでに実施されている自治体の取り組みについて聞き取り調査などを行う。

質問2

デジタル地域通貨の導入を

研究チームを立ち上げたり、他都市の成功事例を調査したりするなど、導入に向けた検討をしてはどうか。

答弁

地域通貨のさまざまな課題も認識しており、将来的なポイント事業との連動も見据え、他都市事例などの調査研究を進めていく。



自民党



田中 誠一議員

質問1

若者が夢や希望をもてる少子化対策を

少子化対策は四半世紀にわたる長期的な視点で取り組むことが必要だが、何を優先して取り組んでいくのか。

答弁

長期的な少子化対策としては、子育てを地域社会で分かち合い、安心して子育てできる子どもを核としたまちづくりを進めていく。



質問2

物流の人材確保にスピード感を持って対策を

来年に迫る運輸の「2024年問題」<sup>(※1)</sup>。市民生活に直結した物流の運転手不足にどのように取り組んでいくのか。

答弁

求職者とのマッチングの機会の提供や物流効率化の為にDX支援などを実施しており、今後も関係機関と連携しながら取り組んでいく。

9月7日(木)

熊本自民



山本 浩之議員

質問1

熊本競輪場の再建

熊本競輪場の再建に向けた、竣工からレース再開までの具体的なスケジュールについて問う。

答弁

現在進めている再建工事については、来年3月末には完了する見込みであり、来年6月を目途に競輪開催に向けた準備を整えたい。



質問2

「くまもと花博2023秋」開催

くまもと花博のレガシーイベント<sup>(※2)</sup>をどのような位置付けで取り組まれるものであるか、市長に尋ねる。

答弁

多くの市民や事業者が参画する花や緑に触れ合う取り組みとして定着させ、日常的に花や緑があふれる上質な生活都市の実現につなげる。

共産党



上野美恵子議員

質問1

企業進出による地下水の枯渇汚染対策実施を

地下水汲上と白川中流域の開発で失われるかん養域に見合うかん養対策と、企業の汚水対策に公のチェックを。

答弁

関係機関と連携し水田湛水期間の延長や面積の拡大などに取り組む。また、県と連携し放流水の水質を継続的に監視していく。



質問2

市民不在の庁舎建替は市長の姿勢が問われる

建替ありきの有識者会議答申を理由の「建替方針」は認められない。説明責任・合意形成を欠いた建替は中止を。

答弁

有識者会議の審議は建替前提ではなく、今後も、適切な情報発信、説明を行い、広くご意見を伺いながら合意形成を図っていく。

参政党



菊地 渚沙議員

質問1

学校給食への有機米の導入を

熊本の豊かな自然と地下水を守り、食農教育にもつながる有機米を学校給食に導入できないか。

答弁

持続可能な農業に対する理解醸成のため、有機米導入に取り組んでいる自治体を参考にしながら、効果的な導入方法を研究していく。



質問2

コロナワクチン乳幼児接種券の  
一斉送付は見直しを

一斉送付によって生じる心理的圧迫や同調圧力を減らすため、申込制に変えるべき。

答弁

10月からは、接種を希望する保護者などからの申請に基づき接種券を発行する方法に変更することとしている。

9月8日(金)

無所属議員



山中惣一郎議員

質問1

市電延伸における健軍商店街活性化

市電延伸に合わせ、健軍商店街や東区の魅力をどのように連携して高めていくのか。

答弁

延伸区間沿線の居住者などへアンケートを実施するとともに、市電延伸を契機とした地域の活性化に向け意見交換や説明会などを実施する。



質問2

結婚支援専門部署の設置を

少子化問題だけに焦点を当てるのではなく、各分野が連携できる結婚支援専門部署の設置が必要では。

答弁

結婚支援は現在子ども局を中心に進めているが、取り組みを加速させていくために、効果的に推進できる仕組みを検討していく。



おしえて  
ひごまる

運輸の「2024年問題」<sup>(※1)</sup> …………… 2024年4月1日以降、自動車運転業務の労働時間等の基準が改定され、時間外労働時間が年間960時間に上限規制が適用されることなどから、労働時間が短くなることで輸送能力が不足する可能性が懸念されている問題。  
レガシーイベント<sup>(※2)</sup> …………… 2022年3～5月に熊本市で開催した「第38回全国都市緑化くまもとフェア」における緑への関心の高まりを引継ぎ開催するイベント。



9月8日(金)

市民連合



田上 辰也議員

質問1

### LRT<sup>(※3)</sup>環状線を～車依存の街からの変身～

TSMCなどの進出を受け、交通渋滞対策として、関係市町を含めた鉄軌道の環状線の実現を目指してはどうか。



答弁

県や関係市町村などと熊本都市圏都市交通マスタープランを策定し、道路や市電も含めた将来の熊本都市圏交通全体のビジョンを示す。

質問2

### 学校の宿題をなくす取り組みを

親の手伝いが必要な宿題は、家庭環境から難しい子どももいる。宿題をなくす取り組みを。

答弁

家庭での学習は大切なことであるため、宿題をなくすことは考えていないが、そのあり方については研究していく。

公明党



吉田 健一議員

質問1

### グリーンボンド<sup>(※4)</sup>の発行は

議会内に提案し2年が経過した、環境に特化した資金調達手段であるグリーンボンドの発行見通しは。



答弁

本年中に50億円の発行を目指し、現在、事務的な手続きを進めており、県内自治体初となるグリーンボンド単独発行を実現する。

質問2

### 地域力パワーアップ大作戦<sup>(※5)</sup>は全区での実施を

東区で成功している東部まちづくりセンター発案の「パワーアップ大作戦」の今後全区での事業実施・拡大は。

答弁

各区において、「パワーアップ大作戦」も参考に企業との連携強化を図りつつ、引き続き地域の特性に応じたまちづくりに取り組む。

9月11日(月)

自民党



日隈 忍議員

質問1

### がん対策を中心に今後の健康づくり

がんは市民にとって最大の健康課題と考える。がんを専門的に担う体制の必要性があるのではないかと。

答弁

がんは本市にとって重要な健康課題の一つであることから、議員ご提案のがん対策を専門に取り扱う班の編成などについて検討する。

質問2

### 義務教育の質を確保するための人材育成・確保

教育現場は厳しい状態であり教員の不安を解消するためにも、教員不足解消の見通しについて問う。

答弁

定年延長も踏まえ、計画的に正規採用の教員数を増やすことで、教員不足が今後改善に向かうと見込んでいる。



熊本自民



高本 一臣議員

質問1

### JR新水前寺駅とバス停の結節

現在、JR新水前寺駅とバス停の結節については、関係機関と協議中であるが、その見通しと進捗状況は。



答弁

新水前寺駅周辺道路は交通の要所区間でさまざまな課題があるが、引き続き関係機関と協議しながら取り組んでいく。

質問2

### 産後ケア事業の充実

現在の通所型は母子の心身の負担が大きいことから、居宅訪問型(アウトリーチ)の導入を検討すべきでは。

答弁

出産直後は外出への負担が大きく、居宅訪問(アウトリーチ)型へのニーズは高いと考えられるため、導入に向け検討していく。

自民党



村上 誠也議員

質問1

### 人件費上昇に応じた指定管理団体への支援を

最低賃金の引き上げにより、人件費も物価の変動に伴う燃料光熱水費と同様にリスク分担の対象とはならないのか。

答弁

現時点では人件費の変動は指定管理者が負担できる範囲内と考えているが、今後の人件費の動向を注視し、他都市も参考に研究する。

質問2

### 西南部の道路に関する課題と対策

国道501号飽田バイパスは着工から28年が経過しているが、開通時期と課題。また冠水対策への対応を問う。

答弁

地域の理解と協力を得ながら、当路線の早期供用に向け着実な事業推進に努めるとともに、冠水被害の防止と軽減に取り組む。



9月12日(火)

熊本自民

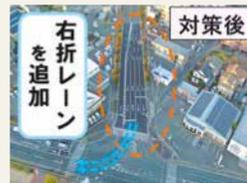


藤山 英美議員

質問1

### 即効性ある交通渋滞対策について

渋滞解消対策は用地買収をしなくてもできるスマート交差点<sup>(※6)</sup>への改良工事を軸に据えるべきではないかと。



答弁

スマート交差点は、安価で早期の効果発現が期待できる極めて重要な取り組みであり、現在、整備候補箇所の選定を進めている。

質問2

### 違法政治活動用立て看板等の現状認識の対応

公選法違反と思われる政治活動用立て看板が道路や空地に設置されているが、市の認識と対応について問う。

答弁

証票が貼付されていない政治活動用立て看板の存在は認識。今後、証票の更新時期に公選法の主旨などを十分に説明し証票を交付する。



おしえてひごまる

- LRT<sup>(※3)</sup> ..... Light Rail Transitの略で、低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システムのこと。
- グリーンボンド<sup>(※4)</sup> ..... 調達資金が気候変動の緩和、自然資源の保全など環境関連の事業に充当され、かつ、グリーンボンド原則の4つの核となる要素(調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定のプロセス、調達資金の管理、レポート)に適合している債券のこと。
- 地域力パワーアップ大作戦<sup>(※5)</sup> ..... 令和4年度より東区で実施している「まちづくり応援事業」。「困りごとがある“地域”」と「地域に貢献したい“企業”」をつなぎ、地域と企業が連携して地域課題の解決に取り組むことで、活気あふれる持続可能なまちづくりを支援している。
- スマート交差点<sup>(※6)</sup> ..... 既存道路の幅員内で車線の割り振りの変更や、信号サイクルの調整を行うことにより、渋滞緩和を図るもの。用地買収を伴わないため、安価で早期の効果発現が期待できる。



## 主な議案の概要

### ○令和5年度熊本市一般会計補正予算

総額15億936万円(減額補正予算含む)

<新型コロナウイルス・物価高騰関連分の主な内容>

- 学校教育活動体制整備経費 ……1億9,620万円
- 感染防止対策経費(介護施設等) ……1億7,420万円

<通常分の主な内容>

- 土木施設災害復旧経費 ……2億7,910万円
- 農地等災害復旧経費 ……1億9,020万円
- 老人福祉施設整備費助成 ……1億2,750万円

●…教育費 ●…民生費 ●…災害復旧費

### ○熊本市自治基本条例の一部改正について

多様な市民の参画等の推進を明確化するとともに、防災等に関する規定を拡充するため、所要の改正を行うもの。

<改正内容>

- 1 参画による市政・まちづくりは、地域社会を構成する多様な市民が共同して取り組むこととする。
- 2 地域コミュニティ活動を行う際には、多様な文化的背景を踏まえ、互いを十分に尊重しながら進めることとする。
- 3 市民相互の協力により解決していく身近な地域の課題の具体例及び市民が日頃から災害等への備えとして取り組むこと具体例を追加する。

<施行日>

令和5年(2023年)10月1日

### ○熊本市犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者等の支援に関し、基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等の支援の基本となる事項を定め、当該支援のための施策を総合的かつ計画的に推進することにより、犯罪被害者等が受けた被害の軽減及び回復を図り、もって市民が安心して暮らすことができる地域社会を実現するため、この条例を制定するもの。

<制定内容>

- 1 目的
- 2 定義
- 3 基本理念
- 4 市の責務
- 5 市民及び事業者の責務
- 6 連携協力
- 7 犯罪被害者等の支援に関する計画
- 8 相談及び情報の提供等
- 9 経済的負担の軽減
- 10 保健医療サービス及び福祉サービスの提供
- 11 居住の安定
- 12 個人情報の取扱いについての配慮
- 13 未成年者への配慮
- 14 市民及び事業者の理解の増進
- 15 民間支援団体の活動の促進
- 16 意見の反映
- 17 協議会への諮問
- 18 委任

<施行日>

公布の日

### ○熊本市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

<改正理由>

放課後児童支援員に関する基準を見直すため、所要の改正を行うもの。

<改正内容>

放課後児童支援員とみなすことができる研修修了予定者の要件を緩和  
 現行:放課後児童健全育成事業所に配置された日から12月以内に所定の研修を修了することを予定している者  
 改正後:放課後児童支援員としての業務に従事することとなった日から2年以内に所定の研修を修了することを予定している者(その者の研修計画が定められた場合に限る。)

<施行日>

公布の日

## 令和4年度(2022年度)決算の概要

令和4年度における熊本市の一般会計決算は、歳入が4,085億円(前年度比マイナス176億円)、歳出が3,994億円(前年度比マイナス170億円)となりました。歳入と歳出を単純に差し引くと91億円の黒字の計算になりますが、翌年度へ繰り越すべき財源が21億円あり、差し引いて考えると、実質収支70億円の黒字となりました。この黒字は、令和5年度に繰り越され、歳入の一部となります。

<一般会計・特別会計>

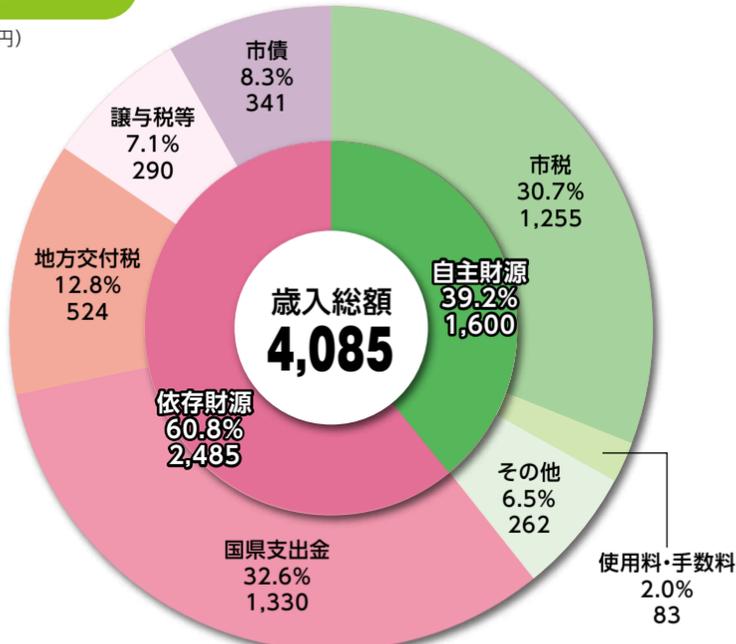
会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
一般会計	4,084億7,461万円	3,993億9,315万円	90億8,146万円
特別会計	2,302億7,038万円	2,253億7,514万円	48億9,523万円
合計	6,387億4,499万円	6,247億6,829万円	139億7,669万円

<企業会計・収益的収支について>

会計名	収入総額	支出総額	収入支出差引額
病院事業会計	176億 976万円	154億5,112万円	21億5,863万円
水道事業会計	130億6,385万円	107億1,987万円	23億4,398万円
下水道事業会計	194億7,400万円	170億6,514万円	24億 886万円
工業用水道事業会計	540万円	480万円	60万円
交通事業会計	22億4,715万円	20億 934万円	2億3,781万円

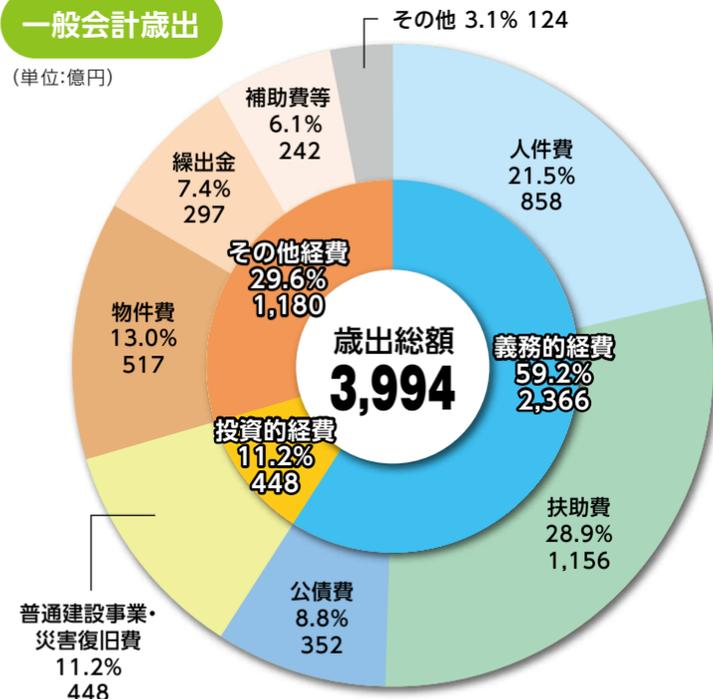
### 一般会計歳入

(単位:億円)



### 一般会計歳出

(単位:億円)





## 総括質疑 (9月14日、9月15日)

### 自民党

- 質疑 1 決算総括・財政運営の留意点**  
財源を使わないから財政の健全性が担保される訳でなく、投資して経済成長の足掛かりにするのが財政の本質故に、財政運営は実質単年度収支と社会状況に適應した執行を基本に中長期バランスの視点が重要。
- 質疑 2 不用額と予算流用**  
不用率の高い事業や予算流用は予算建ての段階での計画性という点で問題視されないか。
- 質疑 3 入札事務**  
入札は特異な社会背景では経済の低迷を招かないよう、公的社会資本形成の元となる事業体の供給力の衰退防止に留意することが重要。
- 質疑 4 補助金交付基準と交付の現状**  
経済状況などのコスト上昇に困惑する世情の動向では補助は不足気味。物価スライドを反映させた補正係数などの導入の柔軟化対策も必要。
- 質疑 5 地方消費税交付金の使途状況**  
地方消費税交付金の歳入は消費税法第1条2項に沿った事業に充当されるべき。
- 質疑 6 農業基盤整備費について**  
西南部農道や水路、農業用排水機場の整備に対する要望件数の多さを鑑み、課題改善のために農業基盤整備費予算の増額または法定外公共物管理の分担を庁内で見直すべきでは。
- 質疑 7 医療費の適正化について**  
子ども医療費拡充に向けては、恒久的に健全な保険制度を手渡していくために全市民に適正受診と適正服薬の推進とともに、医療費に保険料と税金が使われている仕組みを分かりやすく周知すべき。
- 質疑 8 教育の情報化推進経費について**  
ICT教育が推進される中、タブレット端末の課題や教職員のスキルの差をどのように改善・解決されているか。また、今後は教職員の負担軽減、全ての子どもたちへ質の高い授業展開が可能となるよう、ICT教育の成果を可視化できる検証を実施してほしい。
- 質疑 9 小泉八雲熊本旧居保存会などの顕彰団体への補助金増額を!**  
9月1日にジェーンズ邸など9箇所の記念館が地震完全復興したが、小泉八雲熊本旧居保存会を始めとする100%ボランティア市民で運営されている顕彰団体への補助支援金が、大学生の小遣い並では「仏造って魂入れず」である。大幅に増額して記念館の活性化と、観光客誘致へ力を注ぐべきではないのか!



### 熊本自民

- 質疑 1 令和4年度決算状況報告書から歳入の増減について**  
市税歳入増加要因として、個人市民税での納税義務者の増加、国庫支出金歳入減の要因として、子育て世帯関連給付金などに係る国費減、ふるさと応援寄附金歳入増について問う。
- 質疑 2 令和4年度決算状況報告書から歳出増について**  
公債費の過去の推移が示されているが、令和3年から増加している。その要因と今後の予測について問う。
- 質疑 3 財政指標の状況 財政力指数について**  
財政力指数の近年の推移と政令指定都市の中で下位、低位となっている要因とは。
- 質疑 4 市民に信頼される職員の育成について**  
職員一人一人に公務員としての法令遵守と懲戒処分の指針の厳格な運用継続、全体の奉仕者として市民の模範となるような育成などと、市民に信頼される職員を育成するための研修や取り組みを行わなければならないのか。実施したことにより、どのような成果が出てきているのか。また、メンタルヘルス対策事業での成果結果にある職場環境の改善とは何を行ったのか。

- 質疑 5 自立自主のまちづくり活動の活性化について**  
地域コミュニティセンターは全小学校校区に設置を目指すものと思っているが、全校区数とはいかない検証値の根拠と設置目標は別にあるのか。
- 質疑 6 安心して子どもを産み育てる環境づくりについて**  
納得いく医療を受けることができたと感じた市民の割合が、令和2年度から令和4年度で低下している。その要因と今後の指標はどう推移していくのか。
- 質疑 7 客引き行為等対策事業について**  
客引き行為対策事業での決算額の内訳、巡回指導員の選定方法やパトロール状況、巡回指導員による違反行為対策を実施した成果について問う。
- 質疑 8 TSMC熊本進出に伴う産業用地整備について**  
現在での産業用地整備事業の成果について市長の評価を問う。また、適地調査の方法や、なぜ市単独で工業団地造成をしないのか。幹線道路から離れた区域の開発は可能なのか。妙見川沿いの道路新設陳情に対して局内での議論やプロジェクトチームで検討はされたのか問う。
- 質疑 9 市営相撲場の整備について**  
〔(仮称)熊本市スポーツ施設ストック適正化計画〕策定と関連して相撲場の整備について検討したことはあるのか。



### 市民連合

- 質疑 1 コロナ禍中の採用職員研修について**  
コロナ禍で新採新任研修が十分にできなかった。大事な人材育成の機会でもあり再度、実施すべき。
- 質疑 2 コミュニティセンターの修繕経費の予算配当について**  
施設修繕をスピーディーに行うため、各区役所に修繕費執行の裁量権を付与し予算の配当を行うべき。
- 質疑 3 ブレーキ踏み間違い事故防止について**  
車に後付けできる踏み間違い防止装置の普及のため、購入助成事業を市独自で取り組むべき。
- 質疑 4 介護分野における雇用対策について**  
コロナ禍で行った失業者就業支援事業で多くの就労実績につながった。事業を継続すべき。
- 質疑 5 空き家における危険除去について**  
空き家が廃墟化し強風などで住人が事故に巻き込まれる。より強制力のある対応が必要。
- 質疑 6 共有私道の整備補助の拡充について**  
本年4月から所有者同意の要件が緩和された。幅広く周知を行い、補助事業を拡充すべき。
- 質疑 7 健軍電停での乗客の安全確保について**  
混雑時に乗客が道路上にはみ出し大変危険。延伸計画の中で優先的に対策を行うべき。
- 質疑 8 給食室における熱中症対策について**  
エアコンのない給食室がほとんど。40度近い中での作業は危険、早急に熱中症対策を行うべき。
- 質疑 9 ヤングケアラー支援体制強化事業について**  
ヤングケアラーの認知度が低い。決算額の内訳や相談実績、新たな取り組みは。
- 質疑 10 地域猫適正管理推進事業の拡充について**  
飼い主のいない猫の不妊去勢手術を動物愛護センターが実施。事業拡充及び動物病院との連携はできないか。



## 公明党

### 質疑1 就業構造基本調査について

働きながらの介護が困難とならないよう、データに基づいた政策立案を関係各課と連携をとっていただきたい。

### 質疑2 高校進学支援金について

必要とする世帯に進学支援金を漏れなく支給できるよう、より効果的な周知に取り組み、支給額引き上げも検討していただきたい。

### 質疑3 高齢者が安心して利用できる介護サービスについて

まれに寄り添ってくれないケアマネージャーがいる中で、安心して利用できる支援をお願いしたい。

### 質疑4 フッ化物洗口の対象学年の拡大

むし歯予防のため、フッ化物洗口の対象学年を拡大してはどうか。



### 質疑5 特定健診受診率向上に向けて

特定健診の目的から、40、50代の国民健康保険被保険者の受診率のさらなる向上策が必要。

### 質疑6 潜在保育士の掘り起こしに向けて

保育士不足は問題であることから、潜在保育士の掘り起こしのための新たな対策は。

### 質疑7 子育て支援優良企業認定制度の周知広報について

子育て支援優良企業を認知していくため、周知、広報が肝心である。

### 質疑8 教育の情報化推進経費について

こどもたちの学びのためにも、ICT教育に関わる適正予算の確保は重要である。限られた予算を効果的に利用するための工夫・取り組みを今後もお願いしたい。

### 質疑9 骨髄等移植ドナー助成事業について

移植に要する期間は1週間程度かかるため、その期間、ドナーに休暇を与えた勤務先の会社にも助成をするべき。

## 共産党

### 質疑1 業務職や非正規労働者の処遇改善や介護保険の負担軽減は急ぐべき

保育士・看護師などのケア労働者の処遇改善と、学校現場の学期雇用はじめ市の業務職を中心にした非正規労働者の処遇改善を。公契約条例を制定して、委託先で働く人の処遇改善を。介護保険会計の基金80億円を活用し、次年度からの介護保険料は負担軽減を。



## 参政党

### 質疑1 環境保全型農業直接支払交付金拡大の取り組みについて

本交付金の利用は毎年、近似値で推移している。有機農業推進のため、さらなる制度の利用拡充や周知方法の見直しなどを行うべき。



### 質疑2 みらい創造青少年キャリア育成支援事業について

本事業は、青少年が地元熊本での就業を考える大きな契機。今後はオンラインのみでなく、リアルな企業見学なども取り入れるべき。

## 分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

スマートフォン等で読み込むことで、インターネット中継の録画映像をご覧いただけます。



### 総務

#### ●防災士養成講座

近年の防災意識の高まりなどを踏まえ、講座の開催回数や募集定員増に向けた取り組みを求めたい。また、受講条件については熊本市在住者に限らず、市外在住の本市への通勤者も対象となるよう検討を求めたい。



#### ●防災会議開催経費

防災会議における女性の参画率向上につながるよう、女性参画の意義を周知するとともに、他都市の取り組み事例を参考にするなど、関係団体への働きかけについて工夫を求めたい。

### 教育市民

#### ●熊本市自治基本条例の一部改正

今後も外国人などへの偏見や差別のない多文化共生社会の実現を目指し、鋭意取り組んでもらいたい。また、まちづくりの観点においても、多様な人々が主体的に参画できるよう努めてもらいたい。



#### ●熊本市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者などが行うさまざまな手続きにおいては、人的な支援体制の構築や窓口のワンストップ化といった負担軽減策について検討してもらいたい。

### 厚生

#### ●熊本市子ども計画の策定

本市がこれまで行ってきた既存の子ども施策事業の取り組み内容を踏まえ、本市の子育て支援の特色を生かした計画となるよう努めてもらいたい。



#### ●重症心身障がい児等在宅支援事業

医療型短期入所施設への補助については、事業所の安定的な運営が重要であるため、本市独自の補助制度の創設も含め、新設時のみならず継続的に行政からの支援を実施してもらいたい。

### 環境水道

#### ●半導体関連企業進出に係る調査

台湾現地での企業の水資源利用状況の把握や対策などの研究にあたっては、今後、環境局のみならず、上下水道局とも連携して取り組んでもらいたい。

#### ●市民リサイクル活動助成

登録団体数が減少傾向にあるが、地域コミュニティの拡充や活性化に資するよう、登録増に向けた積極的な制度周知に努めてもらいたい。



### 経済

#### ●宿泊税検討委員会の設置

宿泊税の導入に向けては、他都市の状況や検討委員会の意見などを十分に踏まえながら慎重に検討を進めるとともに、制度設計にあたっては、関係者の理解を得られるよう、宿泊税を観光振興により効果の高い施策へ充当してもらいたい。

#### ●旅行者の誘客・滞在の促進

台湾からのインバウンドの定着のためにも、アウトバウンドの拡大に資する全庁的な取り組みについて検討するとともに、インバウンドのさらなる拡大を見据え、訪日観光客の滞在日数増加に向けた取り組みを求めたい。



### 都市整備

#### ●三年坂通りでの倒木

職員が現場に到着するまでにかなりの時間を要したことから、通報があった際には、迅速に対応できるよう、職員体制を整備してもらいたい。



#### ●10分・20分構想

10分・20分構想の実施は、多額の費用が想定されることから、市民に対し計画段階から丁寧な説明と意見聴取を行ってもらいたい。

## 可決された意見書

市議会では、国会または関係行政庁に意見書を提出することで、議会としての意思を表明します。第3回定例会では、2件の意見書が可決(内1件が全会一致)されました。

発議第16号	地方財政の充実・強化に関する意見書について
発議第17号	脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済(サーキュラーエコノミー)の推進を求める意見書について

※発議第16号は、全会一致で可決されました。

## 締めくり質疑 (令和5年9月25日)

スマートフォン等で読み込むことで、インターネット中継の録画映像をご覧ください。▶



### 熊本市附属機関設置条例の一部改正

●熊本市宿泊税検討委員会

### 令和4年度熊本市各会計(公営企業会計を除く。)決算

●市庁舎整備における耐震性能 ●温暖化対策 ●物価高騰対策

## 主な議決結果

各議員の賛否については、熊本市議会ホームページの議員名簿をご覧ください。

議案番号・件名	自民党	熊本自民	市民連合	公明党	共産党	参政党	議員	無所属	議決結果
議第163号 令和5年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
議第171号 熊本市自治基本条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第173号 熊本市犯罪被害者等支援条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第175号 熊本市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	○	可決

## 市議会からのお知らせ

## 第4回定例会は、11月30日(木)~12月20日(水)

詳しい会議日程は熊本市議会ホームページをご覧ください。

### ★傍聴についてのご案内

本会議を傍聴希望の方は、本会議の開催される日に議会棟5階、受付にお越しください。なお、傍聴される場合は、手洗いや手指の消毒の新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。

### ★インターネット中継をしています

定例会、臨時会の本会議及び予算決算委員会は、熊本市議会ホームページで生中継・録画中継を行っています。また、委員会は、無料動画配信サービス(YouTube)にて配信しています。詳しくは熊本市議会ホームページをご覧ください。

本会議中継



委員会中継



### ★点字・音声版を発行しています

希望される方は、下記の議会局までお電話いただくか、必要事項(住所・氏名・電話番号・点字か音声のどちらを希望するか)を記載の上、メール・FAX・郵便にてご連絡ください。

### ★会議録の閲覧ができます

平成3年以降の定例会・臨時会会議録及び平成15年5月以降の各委員会会議録を熊本市議会ホームページに掲載しています。それより以前の分については、議会図書室等で閲覧することができます。

会議録



### ★皆様のご意見をお寄せください

市議会だよりをさらに良いものにしていくためにご意見・ご感想を募集しております。送付先:下記の議会局までお願いします。



## 年末・年始にあたり

公職選挙法の規定により、議員が年賀状等のあいさつ状を出すことは制限されておりますことから、年末年始のごあいさつは失礼させていただきます。皆様にはご理解いただきますようお願い申し上げます。

次のような事項につきまして、公職選挙法で禁止されています。

### 議員の寄付禁止

- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 地域の行事(祭り等)への寄付(御樽)や差し入れ
- 葬式の花輪、供花 ●病気見舞い
- 入学、卒業祝い ●お中元やお歳暮



### 時候の挨拶状の禁止

- 答礼のための自筆によるものを除き、議員が年賀状や寒中見舞い等時候のあいさつ状を出すこと。



## 編集後記

議会広報委員会 (10名)



島津哲也委員長



伊藤和仁副委員長



高本一臣委員



山内勝志委員



古川智子委員



中川栄一郎委員



松本幸隆委員



木庭功二委員



菊地渚沙委員



村上磨委員

今年の5月より二度目の広報委員となりました、高本一臣です。市民の皆さまが、議会の存在を身近に感じ、関心を持っていただけるよう、「より分かりやすい」議会だよりを目指してまいります。市政だよりともども、よろしく願い致します。

高本 一臣 議会広報委員

発行/熊本市議会  
編集・文責/熊本市議会広報委員会

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号  
TEL. 096-328-2684(議会局政策調査課)  
FAX. 096-324-3284

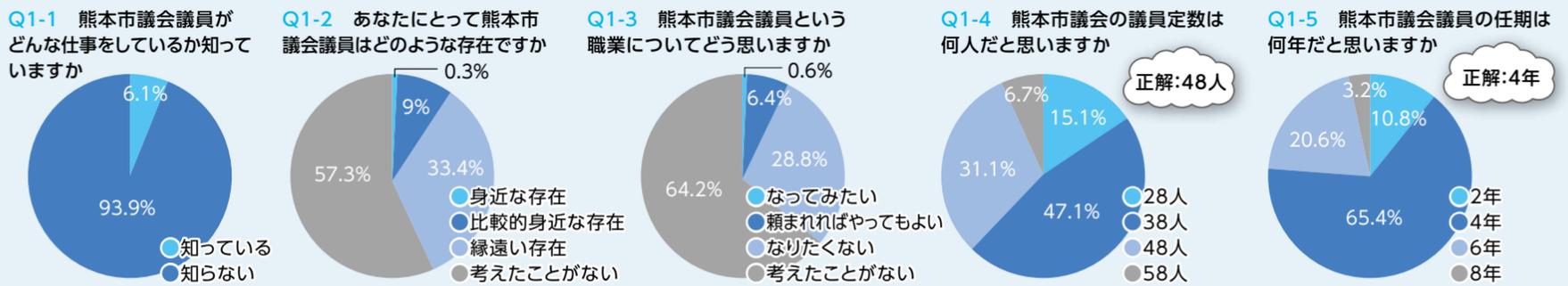
電子メール  
gikaiseisakuchousa@city.kumamoto.lg.jp

# 必由館高校2年生344名を対象にしたアンケート集計結果

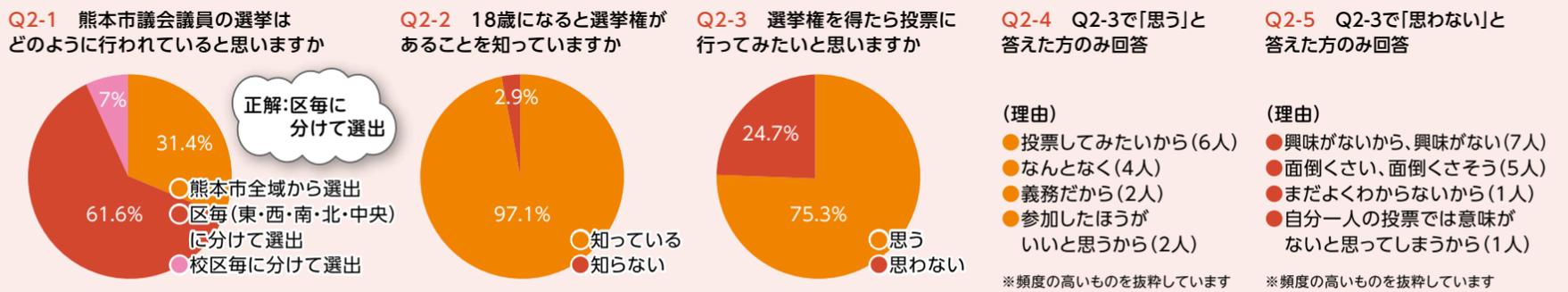


熊本市議会では、親しみのある分かりやすい議会を実現させること、市民に市議会への理解と関心を深めてもらうことを目的に、若い世代を対象とした市議会に関するアンケートと意見交換会を実施しました。  
今回は熊本市立必由館高等学校2年生344名の皆さまに、熊本市議会に関するアンケートと意見交換会にご協力いただきました。

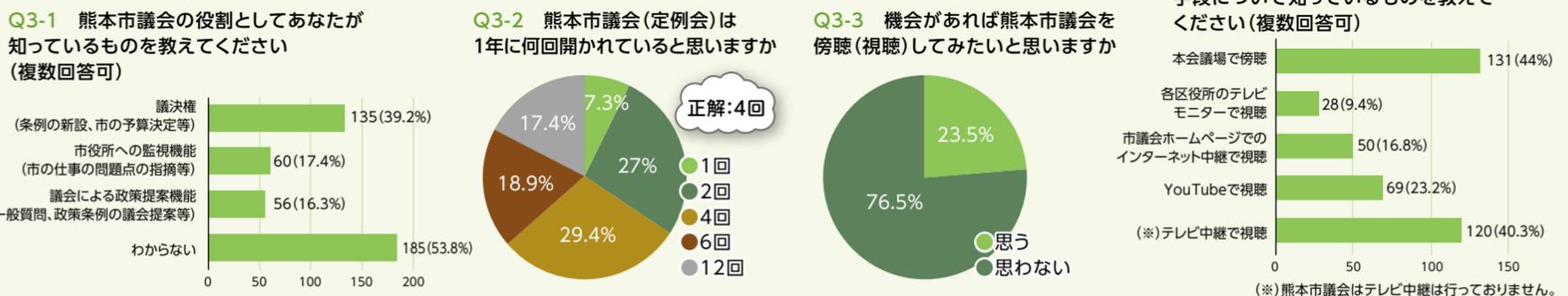
## 1. 熊本市議会議員について



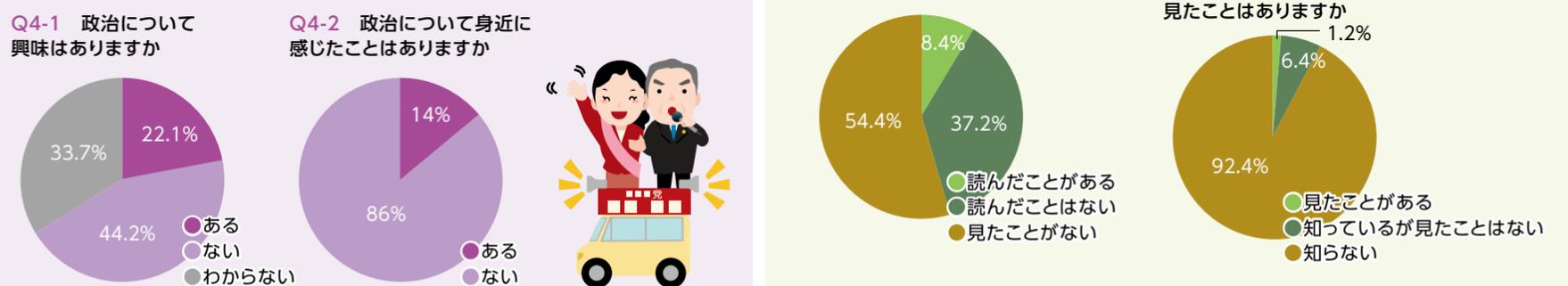
## 2. 選挙について



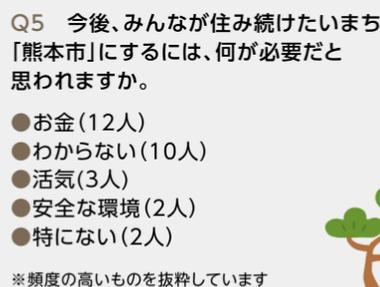
## 3. 熊本市議会について



## 4. 政治について



## 5. その他



## 10月23日 意見交換会を終えて

アンケートに協力いただいた熊本市立必由館高等学校2年生の代表者の皆さまと、意見交換会を開催しました。アンケート結果を見ながら、高校生が議会や議員に対して様々な意見交換を行いました。

### 事後アンケート

議員の方と話すことが初めてで緊張しました。分からないなりに質問して、どれだけ議員の方が関わり合っているのかが分かりました。また、小さいころから住んでいる地域に疑問を持って、それを意見としてぶつけるのは初めての経験となり、自分のスキルアップにもなりました。

市議会議員の方のイメージは、少し怖いイメージでしたが、意見交換会ではとても話しやすく、優しいイメージに変わりました。今回の意見交換会で出た意見などをもとに、私達10代にもいろいろな悩みや提案があるということを知ってもらい、私達ももっと地域に関わることができるようになったら良いなと思いました。今回の経験を次に繋げていきたいです。

